

センナ・センナ実(2359102)

---

【成分】

1g 中、センナ葉 577.9mg、センナ実 385.3mg

【適応と用法】

便秘(ただし、けいれん性便秘は除く)、駆虫剤投与後の下剤

1回 0.5～1 g, 1日 1～2回(増減)

【注意事項】

(1) 一般的注意：連用による耐性の増大等のため、効果が減弱し薬剤に頼りがちになることがあるので、長期連用を避ける

(2) 禁忌

(a) 本剤又はセンノシド製剤に過敏症の既往歴のある患者

(b) 急性腹症が疑われる患者、けいれん性便秘の患者 [ぜん動運動亢進作用により腹痛等を増悪するおそれがある]

(c) 重症の硬結便のある患者 [下剤の経口投与では十分な効果が得られず、腹痛等を増悪するおそれがある]

(d) 電解質失調(特に低カリウム血症)のある患者には大量投与を避ける [下痢が起こると電解質を喪失し、状態を悪化させるおそれがある]

(3) 原則禁忌：妊婦又は妊娠している可能性のある婦人(妊婦・授乳婦への投与の項参照)

(4) 慎重投与：腹部手術後の患者 [腸管ぜん動運動亢進作用により腹痛等がみられるので、消化管の手術後は特に注意する]

(8) その他：尿が黄褐色又は赤色を呈することがある

(9) 防湿保存

【副作用】

(5) 副作用

(a) 過敏症：まれに発疹等が現れることがあるので、このような場合には中止する

(b) 消化器：腹痛、また、ときに悪心・嘔吐、腹鳴等が現れることがある

(6) 高齢者への投与：一般に高齢者では生理機能が低下しているので慎重に投与する

(7) 妊婦・授乳婦への投与

(a) 妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にだけ投与する。なお、投与した場合、子宮収縮を誘発して流産の危険性があるので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には大量に服用しないよう指導する

(b) 授乳中の婦人にセンノシド製剤を投与した場合、乳児に下痢がみられたとの報告があるので、授乳を避けさせることが望ましい

【長期】

【備考】